

## 野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日 時 平成30年8月22日（水）午後1時30分開会 午後2時36分閉会
- ◇場 所 野田市役所高層棟5階511会議室
- ◇出席委員 佐藤裕教育長 高橋保教育委員 伊藤稔教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 杉山一男生涯学習部長 宮澤一弥生涯学習部次長（兼）社会教育課長 中村利夫教育総務課長 岡田通洋社会体育課長 横島司青少年課長（兼）青少年センター所長 寺田幸生興風図書館長 長妻美孝学校教育部長 矢部雅彦学校教育部次長（兼）指導課長 船橋高志学校教育部参事（兼）学校教育課長

- ◇書 記 鈴木一敏教育総務課長補佐（兼）庶務係長

### ◇付議事件

- (1) 野田市文化センター運営審議会委員の委嘱について
- (2) 平成30年度野田市一般会計補正予算（第3号）（教育委員会関係分）に係る意見聴取について

### ◇教育長の報告事項

- ・社会教育課
  - (1) 平成30年度第1回野田市公民館運営審議会会議の概要について
  - (2) 鈴木貫太郎翁没後70周年記念講演会の概要について
- ・青少年課
  - (1) ペアレンタルコントロール講習会の結果について
- ・興風図書館
  - (1) 平成30年度第1回野田市立図書館協議会会議の概要について
- ・学校教育課
  - (1) 平成30年度サマースクールについて
- ・指導課
  - (1) 平成30年度第1回土曜授業検証委員会について
  - (2) 平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要について
  - (3) 野田市イングリッシュ道場について
  - (4) 児童生徒の諸活動について
  - (5) SNS等を活用した相談体制の構築事業について

◎佐藤教育長

ただいまから、平成30年8月教育委員会定例会を開会いたします。  
本日の会議録署名委員を高橋委員にお願いいたします。  
会議録承認の件に入ります。  
平成30年7月定例会の会議録について、確認をお願いします。  
御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

御異議なしと認めまして、7月定例会の会議録につきましては、承認といたします。  
議事に入る前に、本日、議案第2号 平成30年度野田市一般会計補正予算(第3号)  
(教育委員会関係分)に係る意見聴取についてが追加議案として提出されました。  
議案第2号を本日の議案として追加し、会議を進めたいと考えます。  
なお、追加議案については、議会関係案件ですので、非公開により会議を進めたいと考  
えますがいかがでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

御異議がございませんので、追加議案については、非公開で会議をいたします。  
なお、会議の進行上、議案第1号の議案審議を行い、教育長の報告事項の終了後に審議  
することにいたします。  
それでは、議案の審議に入ります。  
議案第1号を議題といたします。  
(書記議案朗読)

◎佐藤教育長

事務局から説明をお願いします。  
社会教育課長。

◎宮澤社会教育課長

議案第1号 野田市文化センター運営審議会委員の委嘱について御説明申し上げます。  
本案は、野田市文化センター運営審議会委員の任期が平成30年8月31日をもって満了と  
なることから、野田市文化会館の設置及び管理に関する条例第18条の規定により、平成30  
年9月1日付けで新たに委員の委嘱をしようとするものでございます。  
文化センター運営審議会につきましては、野田市文化会館の設置及び管理に関する条例  
第16条の規定により、教育委員会の諮問に応じ、文化会館及び勤労青少年ホームの運営に  
関する事項について審議するものとされており、また、教育委員会は、文化会館と野田公  
民館小ホールとの一体的運営に関する事項について、審議会に意見を求めることができ  
るとされております。  
また、審議会の委員は、関係団体を代表する者、関係行政機関の職員、学識経験者及び  
公募に応じた市民から成る16人以内で組織するとされております。  
公募委員につきましては、2人の募集に対し、6人の応募がありました。面接審査の結  
果、選考基準の点数以上で、かつ、点数が上位2人の田中浩之氏及び成瀬猛氏を委嘱しよ  
うとするものでございます。  
新任の委員は5人で、そのほかの委員の方々は、再任でございます。

女性委員の登用率につきましては、委員16人中、女性委員が7人で、約44%でございます。

任期は、平成30年9月1日から平成32年8月31日までの2年間でございます。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

◎佐藤教育長

議案の審議に入ります。御質問等ございますか。

ないようですので、議案第1号についてお諮りをいたします。

議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

御異議なしと認めます。

よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

次に、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する質問につきましては、説明終了後に一括してお受けしたいと思っております。

それでは、最初に社会教育課からお願いいたします。

社会教育課長。

◎宮澤社会教育課長

社会教育課所管の2事業について御報告いたします。

まず、平成30年度第1回野田市公民館運営審議会会議の概要について御報告いたします。

資料は、1ページでございます。

会議は、7月26日に、関宿中央公民館大会議室において、委員24人中19人の出席により開催いたしました。会議の内容といたしましては、平成30年度の公民館前期主催講座及び子どもの学び舎「夏休み子ども自習教室」について事務局から説明し、御了承いただきました。

次に、鈴木貫太郎翁没後70周年記念講演会の概要について御報告いたします。

資料は、2ページから18ページまででございます。

講演会は、8月12日にいちいのホール小ホールにおいて開催し、早稲田大学教育学部講師の望月雅士氏に「鈴木貫太郎の信念—『木戸幸一日記』を通して—」と題して、鈴木貫太郎内閣で内大臣を務めた木戸幸一が記した「木戸幸一日記」を手掛かりに、鈴木貫太郎翁の信念について講演していただきました。約110人が参加しました。

以上でございます。

◎佐藤教育長

次に、青少年課からお願いいたします。

青少年課長。

◎横島青少年課長

青少年課から1点、ペアレンタルコントロール講習会の結果について御報告いたします。報告事項の19ページでございます。

去る7月31日、金曜日、野田市保健センター3階大会議室において、午後2時から3時30分まで、千葉県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課、情報セキュリティーアドバイザーの星野和彦氏を講師に招き、「ネットトラブルの対応」について講演会を開催いたしました。当日は平日にもかかわらず、64の方に御参加をいただきました。

当日は、SNSの普及について、また、年々、スマートフォン等の普及によるトラブルが様々に変化しておりますので、子供たちに携帯電話等を買与える保護者の責任は重大であることを認識していただきました。また、大人がインターネットのリスクを学び、子供たちを注意、見守り、指導・監督する管理能力がとても重要であること、購入する際のルールを決めて守らせなければならないこと、不当請求への対応が、参加された皆さんに伝わったと思います。

以上です。

◎佐藤教育長

次に、興風図書館からお願いいたします。

興風図書館長。

◎寺田興風図書館長

8月21日、火曜日に開催されました、平成30年度第1回野田市立図書館協議会の概要について御報告いたします。

資料は、20ページでございます。

当日の協議会は、興風図書館2階会議室を会場に、委員11名中10名の御出席をいただきました。内容といたしましては、平成29年度の図書館の事業実施状況、平成29年度運営数値目標の結果及び平成30年度事業について報告し、了承をいただきました。

以上でございます。

◎佐藤教育長

次に、学校教育課からお願いいたします。

学校教育課長。

◎船橋学校教育課長

平成30年度サマースクールにつきまして御報告申し上げます。

資料は、21ページです。

今年度は、7月26日、木曜日に開催させていただきました。当日は、厳しい暑さも心配されましたが、関係者の協力の下、全ての活動を予定どおり、そして、無事に行うことができました。

具体的な内容ですが、開校式の後、前半は川間公民館において、栄養士部会による料理教室、養護部会による保健指導、野田市医師会の岡田先生と神田先生による生活習慣病についての講演会、そして、体育部会によるレクを行いました。

後半は、川間小学校に移動し、プールにおいてインストラクターの屋嘉部先生を招いてのアクアビクス、そして閉校式を行い、終了となりました。今年度も、野田市学校保健会会長の岡田一芳先生には、開校式、閉校式での御挨拶を始め、保護者への保健指導等、一日中丁寧に御指導をいただきました。

児童や保護者からの感想は9月に提出していただくことになっておりますが、保健指導や閉講式での子供からの意見発表では、「楽しく体験ができた。」、「違う学校の人と楽しくできた。」、「来年も参加したい。」と前向きな発表が多数出されました。

また、今年度は、初めて西部地区を会場として開催しました。今年度の参加者数17名は、調理実習を行う上では、余裕のある状況で良かったのですが、昨年度に比べ参加者数が減少したことは、課題の一つとして、原因と対策を検討してまいります。

今後も、サマースクールでの学びの楽しさや、手作りぎょうざやアクアビクスを始めとした企画の面白さを更にアピールしていきたいと思っております。

以上で、報告を終わります。

◎佐藤教育長

次に、指導課からお願いいたします。

指導課長。

◎矢部指導課長

指導課所管の事業等について報告申し上げます。

平成30年度第1回土曜授業検証委員会について報告申し上げます。

資料は、22ページです。

7月27日、金曜日に、校長会、教頭会、教務主任、保護者の代表にお集まりいただき、今年度第1回の土曜授業検証委員会を開催いたしました。現在の土曜授業、新学習指導要領完全実施に向けた土曜授業の在り方、来年度の土曜授業について協議を行いました。委員からは、アシスタントが入る習熟度別学習は、特に学習の苦手な児童生徒にとって効果的であること、普通の授業では取り上げにくいN I E学習等は、考える力を育てることに役立っていること等の有効性が指摘され、児童生徒の充実感、達成感を重視した内容を期待する声が寄せられました。一方で、土曜授業日に学校行事を実施すれば、保護者が更に学校に足を運びやすくなるといった意見、また、土曜授業と部活動の県大会・関東大会、さらには、高校訪問等との重複により、欠席者が増える事例が挙げられました。

まとめとして、全ての児童生徒が充実した時間を過ごせるよう、各学校の一層の工夫と、新学習指導要領が求める「社会に開かれた教育課程」を意識した取組が求められました。

続きまして、平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要について、7月の定例会での速報値に引き続きまして報告申し上げます。

資料23から25ページは小学校、26から28ページは中学校です。平成19年度からの推移をお示しました。

調査を受ける児童生徒は毎年違いますので、平均正答率のみで学習状況を比較するのは難しい面もありますが、小学校については、昨年度は国語AB、算数ABの全てにおいて全国平均を上回っていましたが、今年度は全てにおいて全国平均を下回っています。

中学校では、全てにおいて全国平均を下回っています。ただし、国語については、A問題、B問題いずれも昨年度の正答率を上回っています。

少し詳しく御覧いただきたいと思います。資料23ページ、小学校の国語です。一番上の、横長の表を御覧ください。一番上に野田市教育委員会とあります。これを右にたどっていただきますと、平均の正答数は12問中8.1問です。その一つ下が千葉県の平均8.4問、全国では8.5問です。正答数で申し上げますと、野田市と全国平均は0.4問の差です。あと0.4問できれば全国平均に届き、これがあと1問できれば全国平均を上回る状況です。たった1問ですが、されど1問であると考えています。全ての子供があと1問解けるようにするのはやはり大変です。各学校においては、答えの間違い、誤答分析ツール等を活用し、児童生徒のつまずきの傾向を把握し、より実効的な学習指導につなげていただきたいと思います。そして、こういう傾向につまずきがあるという情報の蓄積と、学年を超えて情報の共有が必要であると考えます。

具体的には、千葉県総合教育センターのホームページから誤答分析ツールをダウンロードしていただき、各校のデータを取り込むと、誤答分析シートができますので、それをプリントアウトしていただきます。そこから間違いが多かった問題を取り出していただきます。今後、文科省より出される資料に、それぞれの間違い、誤答問題に対してどのような対応策があるかが紹介されますので、これを参考に具体的な指導法を検討していただきます。調査問題の範囲は、全ての学年にまたがっています。全学年のファイルを作成し、該

当する学年の情報をファイリングし、蓄積することにより、各学年でつまずきを意識した指導が日常的にできると考えますので、このことを各学校に周知してまいります。

さらに、校長会では、全国学力・学習状況調査に学習到達度調査を加味して、学校別に小6、中3の児童生徒の経年変化を資料として配付する予定です。グラフの形に各学校の特徴が表れております。また、先ほどのつまずきを意識した指導に加え、教科指導、学級経営、学年経営等についても分析していただき、学習指導に役立てていただくよう指導してまいります。

資料にはございませんが、同時に実施したアンケート調査では、先生方の地道な取組の様子が表れています。算数・数学科の指導法の工夫については過去3年間、毎年上昇しています。さらに、小中ともに家庭学習の指導が定着しつつあり、中学生の学習習慣は3年間、確実に上向いています。規範意識や自尊感情にも大きな落ち込みはありません。

これらのことから、地道な取組ができる下地が充分にあることが表れていると思います。この下地をいかせるよう今後とも取り組んでまいります。

続きまして、野田市イングリッシュ道場について申し上げます。

資料は、31ページです。

今年で4年目を迎える野田市イングリッシュ道場につきましては、夏休み期間に野田市役所と中央公民館を会場として、中学生が英語で自己表現しようとする意欲や、自ら英語学習に取り組もうとする態度を養うため実施しています。7月30日及び7月31日に開催した3年生の道場には、前年度の2年生の時に参加した5人を含む16人が参加し、8月2日及び3日に開催した2年生の道場には、13人が参加しました。

期間中は、生徒を3、4名から成るグループに1人ずつALTを配置して、英語によるコミュニケーション活動を集中して行いました。参加した生徒からは、楽しく英語に触れることができたとの感想が寄せられました。また、生徒自身がリスニング力やスピーキング力の向上を実感したことで、今後の英語学習への意欲付けができたと考えております。

次に、児童生徒の諸活動について報告申し上げます。

本日お配りした資料の33ページです。

陸上では、台風の影響で8月8日の1日のみ行われました関東中学校陸上競技大会に、5名の生徒が出場しました。

第一中学校1年、荒井一翔君が男子1年1,500メートル、北部中学校1年、鍋島あいるさんが女子1年100メートル、岩名中学校1年、植田虹乃花さんが女子1年800メートル、岩名中学校3年、山本乃々香さんが女子共通800メートル、二川中学校3年、白井伶欧君が男子共通110メートルハードルに出場しました。

8月18日から21日まで岡山県を会場に開催された全国中学校陸上競技大会には、3名の生徒が出場しました。

二川中学校3年、白井伶欧君が男子共通110メートルハードル、岩名中学校3年、山本乃々香さんが女子共通800メートル、南部中学校3年、境真衣さんが女子共通1,500メートルに出場しました。

バドミントンでは、1名の生徒が8月7日からひたちなか市で行われた関東大会に出場しました。

第二中学校3年、中田大地君が男子シングルスに出場しました。

本日の資料にはありませんが、8月18日に神奈川県の日産スタジアムで行われた全国小学生陸上競技交流大会で、南部小学校6年、坂本渚咲さんが6年女子100メートルで2位、尾崎小学校6年、松本來斗君が男子80メートルハードルで7位の結果を残しました。

音楽関係では、7月21日から8月5日に開催された千葉県吹奏楽コンクールの予選に、小中合わせて25組が出場しました。

また、8月21日に行われた第17回千葉県小学校バンドフェスティバルにおいて、山崎小学校が金賞を受賞し、県代表として東関東大会に出場することになりました。また、同日行われた第31回千葉県マーチングコンテストにおいて、南部中学校がコンテスト部門で金賞を受賞し、県代表として東関東大会に出場することになりました。

次にSNS等を活用した相談体制の構築事業について報告申し上げます。

資料は、32ページです。

いじめ通報アプリ「STOP i t (ストップイット)」の7月29日現在のダウンロード数は157件で、先月比プラス4件です。ダウンロード率は、生徒全体の約4.0%で前月比プラス0.1、スマートフォンを所持する生徒の約5.4%となります。先月の報告後、表中11番、12番の2件の相談がありました。

また、この資料作成後、8月に入って1件の相談がありました。概要は、受験期特有の悩みです。こちらからのアドバイスに対して、肯定的な返答があったので、解決したと判断いたしました。

現在対応中の案件は、5件です。これらは、こちらからの問いかけに対する返信を待っている状況です。

アプリをダウンロードしている生徒には、夏休みの初めに、充実した夏休みを送って欲しいことに加え、困った事があったらいつでも相談してほしいというメッセージを一斉送信しました。夏休みの最後にも、励ましのメッセージを送信する予定です。

以上でございます。

#### ◎佐藤教育長

ほかに報告事項がありましたらお願いいたします。

ないようですので、ただいまの報告事項につきまして、質疑がありましたらお願いいたします。

高橋委員。

#### ◎高橋委員

2点お伺いします。

1点目は、土曜授業検証委員会についてです。この報告をお読みしますと、先生方の意識がかなり変わってきている可能性があるのかなど。しかもそれは、否定的な考えであったのが、やや肯定的な考えになっている先生が多くなっていると、土曜授業の有効性のところを読ませていただき、そのように感じました。この辺が、私の考えと違っていたら訂正をしていただきたいと思います。教育課程全体の課題の中に、「平日に実施している様々な行事のさらなる精選が必要である。」という部分、先生から出たということです。これは、かなり各学校が精選していると思いますが、更に精選ということは、消極的な考えをすると、更に行事を少なくしなさいというふうに捉えられなくもないものですから、具体的にはどういうふうに言っているのか教えていただきたいと思います。

2点目ですが、夏休み前、4月から7月までの不登校の人数がまとまっていれば、小中学校別、原因別に人数を教えていただきたい。そして、今報告にもありましたSNSを使って休みの最後の日にメッセージを送るということですが、大変すばらしい取組だと思います。先日、新聞に出ていましたが、夏休み後半から9月の初めにかけて、子供たちの自殺数が非常に多いということでございます。教育委員会として、各学校にどういう指導をしているのかをお聞かせいただきたいと思います。

◎佐藤教育長  
指導課長。

◎矢部指導課長

先生方の意識ですが、先生方は非常に一生懸命やっただいていてと思います。その中で現状を見ますと、ここに書いてありますような課題がありながらも、土曜授業を実施するからにはより広角的なものがあるように進めていきたいという、そういったものの表れであると考えています。全国平均よりは下回っていますが、幸いなことに国語の部分の正答率が上がっているというところにも、こうした努力の成果が表れているのかなと感じております。

行事の精選についてですが、意見として多かったものは、高橋委員がおっしゃるように行事は各学校が十分精選している状況がございます。この精選した行事を土曜日に移すことによって、保護者が参加しやすくなるのではないかという意見をいただきました。主な例が、部活動の大会前の壮行会、音楽の発表会、芸術鑑賞会、保護者に対する入学説明会、卒業生を送る会、新入生歓迎会など、こういったものが平日に行われているが、これらを土曜日に行くことで保護者が集まりやすくなる、地域の方にも見てもらいやすくなるのではないかなということ、精選の意味は、平日に行う授業をもう少し絞り込めないかなという意味で、これ以上行事を少なくするのは難しいと考えているところです。

次に、不登校関係についてですが、7月末現在の数字で申し上げますと、小学校18人、中学校98人です。原因別では、小学校では、学校における人間関係1、無気力6、不安7、その他4。中学校では、学校における人間関係8、遊び非行6、無気力46、不安23、その他15というような状況でございます。

以上でございます。

◎佐藤教育長  
高橋委員。

◎高橋委員

土曜授業検証委員会における行事の精選と言いますか、実施時期ですね。それを検討しつつ、確かに子供たちの意欲も違えば、先生方の意欲も違ってくると思いますので、可能かどうかは今後の課題になるかもしれませんが、検討していただければ有り難いなというふうに思います。それから、不登校の人数についてなんです、夏休み明けということで増えることが予想されるわけなんです、一人一人の先生方が個々に対応するのは非常に難しいことだろうと思います。ですので、是非、学校全体で児童生徒を見て指導に当たれるように御指導いただきたい。既に行われていると思いますが、改めて夏休み明けの非行、課題、そういったものを含めまして御指導いただければうれしいなと思います。

◎佐藤教育長  
学校教育部長。

◎長妻学校教育部長

ただ今、高橋委員さんから貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。指導という立場では、校長会が一番機能しているんですが、一昨年前まで、夏に校長会がなく、明けて9月に開催していたんですが、9月の頭が大事だろうということで、昨年から8月末に校長会をさせていただいて、9月を迎えるような形をとっております。今週24日に校長会を控えておりますので、いただいた御意見を基に、学校にも投げかけてまいりたいと考えております。

◎佐藤教育長



ほかに御質問等ございますか。

伊藤委員。

◎伊藤委員

全国学力・学習状況調査の結果の概要で、資料がグラフで示されていますが、例えば23ページの右上の正答数集計値で見ると、正答数が0問、1問の児童数が一桁で出ています。この辺りの1問、2問の子供たちが減れば、全体の平均正答率が上がりますので、10問、11問の子供たちを更に伸ばすよりも、1問、2問の子供たちを何とか上げる工夫をしていただければと。来年に向けて、誤答分析ツールなどを活用するなど、ボトムアップの方策が一つ鍵になるのかなと思います。これは感想です。

それから、イングリッシュ道場ですが、4年目を迎え参加者が少し少ないのが残念だなと思いました。小学校でも英語が教科化されますが、小学生にもイングリッシュ道場を広げるというお考えはありますか。

◎佐藤教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

イングリッシュ道場の開催時期を工夫すれば、もっと増えるのではないかという御意見もいただきました。ただ、ALT自身が母国に帰ってしまう時期であることや、各種大会の合間に行っているため、毎年この時期にやらざるを得ない状況です。また、少人数制で行っていますので、あまり人数は増やせず、20人ぐらいが限度かなと考えています。

◎佐藤教育長

伊藤委員。

◎伊藤委員

ALTは、何人ですか。

◎佐藤教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

12人です。生徒は、3年生が16人、2年生が13人ですので、ほぼマンツーマンに近い形でやらせていただいています。そういった状況もありますので、物理的に小学生まで広げることは難しい状況です。

◎伊藤委員

今後、検討していただければと思います。

ありがとうございました。

◎佐藤教育長

そのほかありましたらお願いします。

飯田委員。

◎飯田委員

32ページで、「STOP i t」のダウンロード率ですが、この分母は生徒数なのか、スマートフォン等の保有者の数なのか。また、7月定例会以降、いじめの相談等がありましたら教えてください。

◎佐藤教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

「STOP i t」のアプリは、大人でも子供でも無料でダウンロードすることが可能で

す。これに学校ごと、学年ごとに割り振られたアクセスコードを入力することで初めて野田市教育委員会とやり取りができることとなります。分母の3,955人は、野田市の中学生全生徒数です。この中にはスマートフォンを持っていない生徒も含まれるので、スマートフォンを持っている子供の割合からするともう少し高くなり、約5.4%となります。これは、柏市より少し低いくらいです。

新たないじめの報告ですが、残念ながら1件ございます。内容としましては、小学校で、背中を押されたことに端を発し、子供同士の話し合い、それから、保護者を交えての話し合いを行っておりますが、保護者の納得が得られていない状況です。市としましても、間に入って相談に乗っていきたくて考えています。

◎飯田委員

十分に御配慮いただきながら、解決できるようにお願いします。  
ありがとうございました。

◎佐藤教育長

そのほかありましたらお願いします。  
高橋委員。

◎高橋委員

鈴木貫太郎翁没後70周年記念事業、大変お疲れさまでした。最近マスコミでは、いろいろな場面で取り上げられているなど感じています。先日、私が目にしたのは、テレビでは池上彰さんが、今日の読売新聞朝刊では、4、5回目になりますが取り上げています。これだけマスコミ等に貫太郎記念館からの資料が出ているんですが、逆に言えば、資料をもらえるチャンスでもあるのかなど。実物は無理だとしても、それだけの情報をもらえるチャンスでもあるのかなど。例えば、テレビで放映されたものを記念館で映像として見せられるのか。著作権の問題もあるでしょうから、難しいかもしれません。いずれも、時間が経てば経つほど分からなくなるものが多くなると思いますので、こういったチャンスを捉えて、一つの資料として記念館の方で保存されると、のちのち、役立つことがあるのかなど思ったりします。今日の読売新聞で取り上げられたのは、関宿小学校の児童が記念館に行つての学習と、地域の方がそれに協力していますよと。そして何よりも、校長室に大きな時計があるんですが、今も動いているという記事まで載っていました。こういうものは、次第に薄れてくると思いますので、是非ここで収集していただければ、後世に伝えていくことができるんじゃないかなと思ひまして、意見を述べさせていただきました。

以上です。

◎佐藤教育長

社会教育課長。

◎宮澤社会教育課長

御意見ありがとうございます。

新聞記事につきましては、スクラップ等で保存することが可能ですが、テレビ放映されたものは、権利等の関係で先方に確認してみないとはっきりとしたことは申し上げられないのですが、パイプ役として、貫太郎翁のお孫さんである道子さんと養子縁組をした方が、プロデューサーとしてテレビ東京に出向して番組を制作したということですので、この方を通じて、のちのち、野田市の方に頂けるようなものがあれば頂きたいというふうに思っています。

◎佐藤教育長

そのほかにも御意見等ございますか。

永瀬委員。

◎永瀬委員

サマースクールの件ですが、極端に出席者が減った要因についてどのように考えていますか。

◎佐藤教育長

学校教育課長。

◎船橋学校教育課長

まだ詳細はまとめていませんが、場所のこともあるかもしれません。今後、分析結果を踏まえ、プログラムにつきましても、それぞれの場所の特長を取り入れるなど、より魅力のあるものにしていきたいと考えています。

◎佐藤教育長

永瀬委員。

◎永瀬委員

もう一つ、感想ですが、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえまして、正答率が出ていると思いますが、試験を受けること以上に、例えば、全体の正答率が6割、7割取れているような問題に関しては、徹底して解き直しをしてもらおうと。やりっぱなしというのは一番もったいないですし、テストを受けただけでは何も成長していません。正答率が高い問題は、次は必ず解けるという状態になるように、例えば、解き直しノートを作るとか、先生と生徒でノートの交換をし合いながら、解き直しがどこまでできているかチェックできるようにしたらいいかなと思います。

◎佐藤教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

4月に調査を行いまして、これまでは8月に結果が出るということで、忘れてしまっているという反省を踏まえ、今年度は7月に結果が出ましたので、これを9月からの授業にいかせるように、明後日の講習会で改めてお話をさせていただきたいと考えております。

◎佐藤教育長

ほかにありますか。

高橋委員。

◎高橋委員

全国学力・学習状況調査で、伊藤委員さんから問題が解けない子供への対応というのがあったんですが、グラフを見ると、上位層の児童数も野田市の場合少ないんじゃないかなと感じました。今、土曜授業の効果を見たときに先生方が感じているのは、できない子供に対する個別指導が充実してきていますという、これは、先生方が非常に力を入れられている点だと思います。逆に、できる子供たちは、土曜授業に退屈していないでしょうかという見方もできなくはない。幸い、習熟度別指導をされているわけですので、是非、できる子供たちも満足できるように、上位層も数的に増えるようにしていただければと思います。

◎佐藤教育長

ほかに御質問等ございますか。

ないようですので、以上で教育長の報告事項を終了いたします。

それでは、議案第2号を審議したいと思います。冒頭で確認したとおり、非公開といたします。

なお、議案に対する質疑は、説明終了後に一括してお受けしたいと思います。

(以下、非公開による審議)

◎佐藤教育長

それでは、議案第2号を議題といたします。

(書記議案朗読)

◎佐藤教育長

事務局から説明をお願いいたします。

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

議案第2号 平成30年度野田市一般会計補正予算(第3号)(教育委員会関係分)に係る意見聴取について御説明申し上げます。

平成30年度野田市一般会計補正予算(第3号)(教育委員会関係分)の議案提出に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、市長から意見を求められたことにより本議案を提出するものでございます。

まず、教育総務課所管に係る補正予算の内容について御説明申し上げます。

資料の11ページを御覧ください。

小学校費、学校管理費の需用費のうち、施設修繕料769万円の増額でございます。学校施設整備費の施設修繕料は、学校配当予算では対応できない多額の修繕で、早急な対応が必要な学校施設・設備の修繕に対応しているもので、当初予算1,039万3,000円に対しまして、平成30年7月時点の執行残が238万4,000円となったことから、昨年度10月以降の修繕料の実績額769万円を30年10月以降の必要見込額として増額補正しようとするものでございます。

資料の12ページを御覧ください。

中学校費、学校管理費の委託料のうち、測量委託料369万4,000円の増額でございます。昭和47年に木間ヶ瀬中学校体育館を建設するため用地買収をしておりますが、買収後の残地が公道に接しない無接道地となっており、買収に応じた地権者に不利益が生じていること、公道上に体育館が建っている状況となっていることから、赤道の付け替えと市道認定を行うために必要な用地測量を実施するため、増額補正しようとするものでございます。

教育総務課所管に係る補正予算につきましては、以上でございます。

◎佐藤教育長

社会教育課長。

◎宮澤社会教育課長

続きまして、社会教育課所管に係る補正予算につきまして説明申し上げます。

資料の9ページでございます。

歳入につきましては、教育費寄附金で、社会教育施設物品購入指定寄附金として5万円の増額でございます。市民の方から、福田公民館の図書購入のために5万円の指定寄附があったことから、補正しようとするものでございます。

次に、資料の13ページを御覧ください。

歳出につきましては、社会教育総務費のうち、社会教育施設整備基金積立金として1,000万円の増額でございます。平成29年度の利子分の積立未済分について補正しようとするものでございます。

また、公民館費のうち、備品購入費として5万円の増額でございます。先ほどの5万円

の教育費寄附金について、図書の購入に充てるため補正しようとするものでございます。  
以上でございます。

◎佐藤教育長

学校教育課長。

◎船橋学校教育課長

続きまして、学校教育課所管に係る補正予算につきまして説明申し上げます。

資料の14ページを御覧ください。

学校給食管理運営費の野田産米賄材料費です。これは、学校給食に使われる野田産黒酢米の補助として、毎年1,528万3,000円が予算計上されておりますが、昨年度は、29万1,000円の残金が発生しました。この残金は、次年度に繰り越すこととなっておりますので、今年度の野田産米賄材料費を、1,557万4,000円に増額補正をしようとするものでございます。

学校教育課所管に係る補正予算につきましては、以上でございます。

◎佐藤教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

続きまして、指導課所管に係る補正予算3件につきまして説明申し上げます。

いずれも歳入予算とそれに伴う歳出予算の補正となります。

資料の8ページを御覧ください。

初めに、オリンピック・パラリンピック教育推進校委託金でございますが、本年4月に、県のオリンピック・パラリンピックを活用した教育推進校に清水台小と東部中の2校が指定され、県の取組方針に示された事業を実施することで1校当たり10万円を限度に委託金が支払われます。歳出につきましては、その事業実施に係る経費で、元オリンピック選手等への講師謝礼と資料等の印刷のための需用費となります。

清水台小では、取組方針の中の「心のバリアフリープロジェクト」と「スポーツプロジェクト」を、東部中では、「おもてなしプロジェクト」、「心のバリアフリープロジェクト」、「スポーツプロジェクト」について実施する予定です。

次に、特色ある道徳教育推進校における研究事業委託金でございますが、本年4月、木間ヶ瀬小、二川小、木間ヶ瀬中、二川中の4校が特色ある道徳教育推進校に指定され、県の実施要項に示された事業を実施することで、1校当たり10万円を限度に委託金が支払われます。歳出につきましては、県が作成した道徳教育映像教材を活用した道徳科の授業の在り方等、「特別の教科 道徳」の内容を踏まえた、先進的な道徳教育の研究を実施する予定で、講師を招くための報償費や資料等作成のための需用費となります。

次に、資料の9ページを御覧ください。

指定寄附金に係る歳入の補正とそれに伴う歳出の補正です。

歳入につきましては、本年5月、市内在住の方から、学校図書購入指定寄附として10万円を頂きましたので、補正を行うものです。次に、歳出につきましては、寄附者の御希望で、福田第一小と福田中の2校を限定しての寄附でありますので、それぞれの学校図書室に配架すべく図書を選定し、購入するために補正するものです。

各校へは、それぞれ5万円分の図書を購入する予定です。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

◎佐藤教育長

議案の審議に入ります。

御質問等ございますか。

高橋委員。

◎高橋委員

ブロック塀や投てき板の撤去については、危険性のあるものは全て終わっていると市報で読んだように記憶しています。そういうものは、今回の補正には上がってこないのでしょうか。

◎佐藤教育長

生涯学習部長。

◎杉山生涯学習部長

現在の対応について申し上げますと、危険箇所のあるものの中でピックアップしたものは、52箇所ありました。それについて優先順位を付けて、投てき板については予備費で対応し、全て終わっています。それから、プールについては、プール使用時の安全を確保しつつ、プールの目隠し塀の近くには立ち入らないような配慮をし、利用していただいています。プール終了後、また順位付けをして対応する予定です。今後12月補正で対応するもの、来年のプール開始までに間に合わせるものを切り分けまして、対応を検討しております。さらに、通学路に関係している部分など、全体での対応を含め検討してまいります。

◎高橋委員

ありがとうございました。

◎佐藤教育長

ほかはいかがでしょう。

なければ、議案第2号についてお諮りいたします。

議案第2号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

御異議なしと認めます。

よって、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

以上で議案の審議を終了します。

以上を持ちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。

以上会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委員